カタロ通信

VOl.169

2012年　3月号

http://www.e-kitazawa.com/

㈱北澤工務店
301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
TEL：0297-60-1333
FAX：0297-60-1311
e-mail:info@e-kitazawa.com

カタロ
301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL：0297-60-1666
閉館日：水曜日
e-mail:kataro@e-kitazawa.com

甘味 café　空~くぅ~
301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL：0297-63-0730
定休日：水曜日
e-mail:kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事（般―17）第 22696 号　宅地建物取引業者票茨城県知事免許(3)第 5344 号

解 体 祈 願

２月吉日、龍ヶ崎市Ｓ様邸の解体祈願をさせて頂きました。

新築工事を始める前に、今まで住んでいたお家に、感謝の気持ちを込めて、お流しはお清めし、床・窓・鴨居など拭かせて頂きました。

北澤工務店＆甘味Cafe 空 ~くぅ~ から

3月　空 の ミニショップ は・・・

『　peace　』　～　布小物

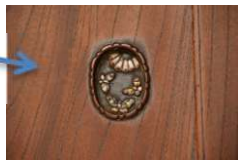
『　亜雅沙　』　～　ハンカチブローチ

住み継がれてきた雰囲気を感じる新居の完成です。

明治時代から住み継がれてきたお家の水回りを一昨年リフォームさせていただきましたが、昨年の大震災で半壊状態となり、今回新築させていただくことになりました。

住み継がれてきた雰囲気をそのままに、一枚板の引き戸や、欄間や引手まで、職人さんの手で蘇らせ、使わせていただきました。

百数十年前の職人さんの仕事に、大絶賛の職人さん達でした。



欄間をはめ込んだ物入れの扉、その残りを障子の後ろの壁にはめ込みました。障子を閉めていると分かりませんが、見えない所までおしゃれです。

１枚板の引き戸、障子を張り替えた引き戸は新居にもぴったり。玄関引き戸は、夜、光にてらされると市松模様のガラスが一段ときれいです。

母屋の雰囲気を残しつつ、安心・安全な、無添加仕様のお家の完成です。

トイレの棚板はヒノキの１枚板を使用、全体の雰囲気に合わせました。

室内外の壁は無添加住宅オリジナル漆喰を使用。床材にはウォールナット、ヒノキ、サクラ材を用い蜜ろうワックスで仕上げました。

欄間を使った扉

１枚板の引き戸

８寸角の大黒柱

おさむのひとりごと

Ｖｏｌ．１４３

記憶に新しいあの大震災から１年が経ちました。ブルーシートの屋根もずいぶん減ったように見えますが、それでもまだまだ手つかずの屋根も見受けられます。ガソリンがなくて並んだことも、コンビニの棚から食料品が消えたことも、ずいぶん昔の出来事のように感じます。いかがお過ごしですか。

≪Ｙ様邸の東日本大震災≫

一年半前にキッチンや洗面台・トイレなどの水回りのリフォーム工事をお世話になった市内のＹ様。１２０年という築年数を誇るＹ様邸ですが、これまでになく使い勝手がよくなったと大変喜んでいただきました。

しかし３月１１日、あの東日本大震災がＹ様宅を襲いました。歴史ある立派な四足門は倒れ、せっかく水回りをリフォームした母屋は瓦が剥がれ落ち、柱や梁がずれ、構造的にも大きなダメージを受けました。地震の時の様子を外から見ていた奥様、『ぐぅらぐぅらこ～んなに大きく揺れて、そのまま倒れちゃうと思ったわ！！』と。市から『大規模半壊』と指定され、修復困難と判断。敷地内にお二人暮らしのための新しいお家を新築し、この歴史ある母屋を解体するという苦渋の決断をされました。

≪家づくりの始まり≫

とにかく長年計画してきた新築工事ではなく、言葉が悪いけれど『仕方なく』新築工事をせざるを得ない状況になったＹ様の家づくり。お気持ちを察して、とにかくなるべく早くご入居いただけるよう計画を進めました。

間取りから費用から許可関係まで順調に進み、いよいよ着手、ということになりました。そこでまず最初にぶつかった難題が老木・花梨の移植でした。推定で２５０年以上は経っているのではないかと思われる老木です。一般的には６０年くらいが寿命らしいのです。その老木を人間の都合で、季節の悪い５月に移植をしなければならないことになった。

その時に腕を振るってくれたのが植木職人の松浦君です。『人間がやれることは全部やりました。あとはこの木の生命力を信じるだけです。』この一言に松浦君の気概が込められている。でもいかんせん老木なんです。人間と同じなんです。吸い上げる力も、新しい環境に適応する力も、弱っている。この花梨の行く末は今なお未知数ですが、Ｙ様の家づくりの象徴として、なんとしても生きてほしい。

≪職人の姿≫

ぼくの自慢の職人たち、それぞれがそれぞれの持ち場で、最高の仕事をやってくれました。

『これがほんとは一番得意な仕事なんだ』と誇らしげに語るのは、セルロースファイバーの吹き込み工事と完成工事のクリーニングをお願いしている稲川さん。取り壊し予定のＹ家で用いられた建具や欄間を、特殊な溶液や技術を用いて再生し、古材だけが持つ風格・品格を余すことなく甦らせてくれました。

Ｙ様が年内に引っ越せるようにと、朝８時前から夜８時頃まで連日がんばってくれたのは棟梁の谷さん。その集中力には神的なものを感じるほどでした。その背景にあったのは、リフォーム工事からつながりのあるＹ様との深い信頼関係です。Ｙ様の心情を察した仕事ぶりは、その仕事の角々に見て取ることができます。『谷さんで本当に良かった。』と何度も何度もＹ様がおっしゃいます。

先の稲川さんが磨いた古材を、見事な加工技術で再生したのが建具職人の河崎さんです。『昔の職人の呼吸が聞こえてくるようだ』そう言いながら震災で壊れてしまった欄間の組子を、一つ一つ丁寧に組み上げ、全く新しいデザインで甦らせてくれたのでした。『ふるびる（古美る）っていうんですよ、こういうのを。』と語る姿に、この仕事に対する誇りを感じました。

≪引き渡し式≫

目標だった年内引っ越から遅れること一か月。お世話になった職人とお客様との最後の集い『引き渡し式』を執り行いました。

震災・大規模半壊・激しい余震・取り壊すという決断・・・平常でない環境にあったＹ様の家づくりは、いつもと同じように見えてもどこか異なる気迫のようなものが現場にあった。その引き渡し式も、否応なく力を出し切った職人たちの熱き思いが吹き出した。渾身の力を出し切った職人たちは、泣いた。その総指揮者として現場を取りまとめてきた監督・長澤も『持てる力を全て出しました！！』と泣きじゃくった。

Ｙ様からはこんなうれしい言葉をいただいた。『先の震災により新築を余儀なくされましたが、みなさんにつくっていただいたことが私の誇りです。ここにいるみなさん、北澤工務店ファミリーですよ。ファミリーです。ありがとう。ほんとうにありがとう』

≪老木・花梨≫

しかしぼくにとってはまだハッピーエンドではなかった。あの老木・花梨が瀕死の状態なのだ。昨夏の猛烈な暑さに耐えた老木は、今度はものすごい寒波と戦っている。皮が剥がれ落ち腐食部分から差し込んだ水が凍って膨張する。。。。。先日、先の松浦君が祈りを込めた二度目の執刀を行った。肢体をもぎ取られたその姿は、見ているだけで涙が出てくる。頼む、花梨、生きてくれ。君はＹ家の象徴なんだ。四足門も震災で倒れた。母屋も間もなく取り壊される。Ｙ家の歴史を語れる数少ない存在なんだ。生きてくれ・・・・いや、生きてください。生きてください。老木・花梨よ。

≪母屋取り壊し始まる≫

これから数ヶ月かけ、Ｙ家の母屋取り壊し作業に入ります。大きな重機を入れて『ガシャーン！』とやる解体工事ではなく、現況を調査し、図面を起こし、できるだけ使える材料として残そう、という計画です。ですので手作業による解体工事ということになります。３間通しの欅の差鴨居を初め、太柱、框、建具などを古材として新築工事に利用させていただくのです。ご興味のある方は、ぜひご一報ください。

３月４月は別れと出会いの季節。寒い冬の間根を伸ばした植物も芽を出してくる。いのちのエネルギーが湧き出してくる季節ですね。

伝　言　板

カタロにて　花あとりえ　シェリー

プリザーブドフラワー教室

日　時：　**3月　17日(土)・27日(火)**
13:00～15:00

体　験：　3,000 円　（全て込み）

＊写真が入るフォトフレームにお花をアレンジ
卒業・転勤などのプレゼントにもぴったりです。
＊プリザーブドフラワー、おむつケーキのオーダーお受けします。

お問合せ・お申込み：
片岡　090－7267－4498
HP　http://p-f-cherie.petit.cc/

カタロにて　韓国語講座

日　時：　**3月　12日(月)・26日(月)**
10:00～11:30

会　費：　3,500 円

講師　邊　美仙
韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。

お問合せ・お申込み
篠崎　080－5543－7489

ホームページが新しくなりました。

【更新情報】ボタン
↓
「更新情報カテゴリー」に
属する記事が、
最新順に表示されます！
リピーターさんに便利！！

【上へ戻る】ボタン
↓
下にスクロールすると
常時、右下に表示されます。
クリックすると、ピュッ！と
上へ戻り、ストレスフリー！

ホームページが新しくなり、カタロ通信（バックナンバーも）がご覧いただけるようになりました。

社長のブログ以外に、現場監督・設計者のブログも新設しました。

新しい記事を更新していきますので、どうぞお楽しみに！

ぽちゃぽちゃミセスの子育て日記

春はお金が出ていく季節ですね。税金に大学の授業料。うわ～…またまた頭が痛い。それなのに、通学に使っている娘の自転車が、駅の駐輪場で鍵を壊して、後輪のカバーの残骸を残し、盗まれました。鍵はしていたと言うので、工具を持って、盗む気で来たのでしょう。警察に連絡しましたが、登録ナンバーが解らず盗難届を断念。取扱説明書箱に保証書と自転車登録票を入れておいたつもりが、つもりのままで、見つからず、きちんとしていないことを娘と擦り付け合い、新しい自転車を買って約２万円の出費でした。２週間経ち、心の傷と怒りが癒えたころ、市役所より放置自転車の連絡が届きました。どこかに乗り捨ててあったのでしょう。放置自転車回収手数料１５００円。えぇ～。盗まれた自転車にまたお金を払ってきました。きっと、盗難届を出していれば放置自転車回収手数料は掛からなかったのでしょう。迷惑を被った上に余計な出費。皆さん！明日は我が身ですよ。自転車の登録ナンバー控えておきましょうね！　今後、こんな嫌な思いをしないようにと、駅の駐輪場に置くときは鍵をこれでもかと４つ付けています。モラルのない人の軽い気持ちで、余計な出費！犯罪ですよ。おばちゃんは怒っています。

自転車を盗むって泥棒ですよ！きちんとしたモラルを持ちましょう。超～怒っているぽちゃぽちゃミセスでした。